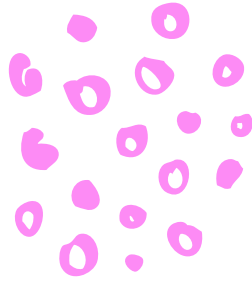


ゆりいか通信

第4号

令和6年8月



不登校の原因は探らない

不登校の原因を探らないとよく言われます。慣れない人とよく言われます。慣れない対応ができないと思いがちなことが、原因の究明はそう簡単なことではないこと。死になっただけで原因を探すと、その間に子どもが育ちが二の次になってしまうこともありませぬ。今はまだ説明されていません。もの原因となつていない。女性も中学生の時、朝いつも起きると頭痛がして登校がきず苦しい思いをして登校がうです。ご家族も心配して病院をあらちから尋ねたので、すが原因が分からず、結局は「本人の気の持ちよう」と思ふようになつたそうです。その方が脳髄液減少症であることが分つたのはそれから十数年経つてからのことでした。今は広く知られるようになった発達障害も三、四十年前だったから、本人の努力不足と思われていたのかも強

同様です。教職員や保護者が知らないばかりに本人の辛さを理解できずただ登校を促すことになると、理由の分からない。不登校というものもありません。本人にも理由が分からないのに、本人も「学校に行けないのには何か理由があるはず」と考えに考え、先生や親に尋ねられるがままに「そういえばあの時こんなことがあった」と思う内容を口にすることがあります。あるいは、本当は原因に心当たりがあつてもそれを心の準備ができておらず、別のことを挙げることもあるでしょう。不登校の原因は、すぐに明らかにならないものも多く、原因探しに時間を費やすだけに有効な手立てにつながりにくいことも多々あります。さらに、原因探しは犯人捜しにもなりがちで、協力して対応にあたりがちなこと、原因探しをお勧めしない理由です。まず受け入れ、今の状態をそのまま受け過ごしてみてください。

Our Activities



夏休みの宿題

やっつけよう会

お盆明けの8月17日から8月いっぱい、午後1時から6時まで高校生の自習室としてゆりいかの部屋を開放します。

夏休みの宿題や受験勉強を誰かとやる方が進む人や、家ではやる気になれない人などこの機会にぜひご利用ください。

利用料は無料です。利用してみたいと思う人は、ゆりいか研究会のサイトの「お問い合わせ」からご連絡ください。お待ちしております。

7月のフラツペ

【保護者のための 性教育勉強会】

7月21日1時半から、第3回フラツペ勉強会を行いました。フラツペは、高校等の特別活動として生徒に伝えている内容を保護者や若者にも届けようという企画です。

今回は、性教育をとりあげ、高校の養護教諭をしていけるゆりいかメンバーから高校における性教育の内容を紹介させていただきました。日頃なかなか周りの相談しにくい内容も参加者で意見交流することができ、とても有意義な時間となりました。

ゆりいかパーソナル#

ゆりいか研究会では、学校現場での不登校理解を進めるために活動を行っています。この度お忙しい先生方を対象に無料オンライン勉強会を始めています。

マンツーマンでの勉強会とすることで、関心のある所に絞って学びを深めていきます。また、その学びをもとにして、実際の不登校対応にもすぐに役立てていただけます。

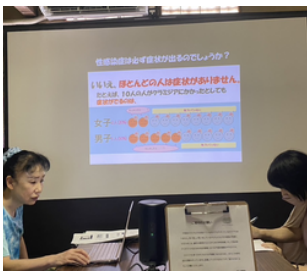
現在希望者を募っています。もしご関心がありでしたらぜひご連絡ください。

遠隔授業スペース

フェルマータ

学校に足が運べない高校生が、学校以外でも授業を受けられるように遠隔授業受講スペースを準備しています。

高校での勤務経験のあるスタッフが同席することで授業出席扱いにもらうことを目指しています。



Thanks to

THE PEOPLE WHO WARMLY SUPPORT US

支援者の皆様（支援者一覧・順不同）

多喜誠子さま、杉本さま他 クラウドファンディングおよびその他の形での寄付をしていただき、ありがとうございました。

なお、campfire community において、クラウドファンディングを行っております。また直接の寄付も受け付けております。どうぞお声がけください。



今月のコラム

今月は、ゆりいか研究会のスタッフによるコラムです。

今どきの高校生は半そでカッター着ない?!

私は高等学校に勤めて25年になる。現在の勤務校は制服を着て通学する学校である。夏の京都は蒸し暑く、新陳代謝の激しい若者はとかく暑がりだ。特に8月は38度という体温越えの日もあるなかで、熱中症にならず少しでも涼しく過ごすために水分補給だけでなく衣服の調節は大事と考えている。しかし、なぜか今年は長袖カッターにネクタイをして、ベストまで着ている生徒を多く見かけるのだ。さらにブレザーを着ている生徒もいる。手には携帯型扇風機を持ち、風を顔に当てている。が真っ赤な頬に、額には大粒の汗。

今日もそんな生徒がハアハア言いながら保健室に来た。私は養護教諭である。この時期に体調不良で保健室に来ているのだから熱疲労か？熱中症か？しかし、その服装は冬服のままではないか。この暑さで「我慢大会？」。または何かの「罰ゲーム？」。頭をよぎるが、そこは笑顔で「どうしましたか。暑かったですか。その女生徒の額から汗が一筋顎まで流れたところで「夏季補習のある315教室ってどこですか？1年生なんですまだわかんなくて。えへへ」と笑う顔はまるで風呂上がりである。なんと教室さがし？体調悪くて来たのではないかと分かったので、少し安心した。では、なんと分かったのか。少し安心した。は30度を超えている。最寄駅から坂道を登って行く本校は「坂道を15分登るという無料ジムがついてくる学校」と半ばやけで在校生にぼやかかっている。なんでそんな恰好で倒れるのか謎。私は目の前の生徒が暑さで倒れないか心配になり、保健室にソファに座らせた。そして、「ネクタイ緩めて、ベストも脱いでいいよ」と声をかけ、本校では個々に応じて体温調節できるように衣替えの時期

をあえて設けていないし、ネクタイもベストも今の時期はしなくてよいことを話した。ところが、ネクタイを緩めはしたもので「かわいいが大事なんで、半袖はいやなんです。ネクタイもベストも大事」と言うのだ。「少し体が冷えるまで扇風機にあたってベストを脱いだらいいよ」と言うと、ベストを脱ぐとスカートと腰のところで折っているのがばれるので脱ぎたくないという。あーびつくり！おしゃれが大事なのである。信じられないこの暑い京都で。

それから生徒の服装を観察してみると、半袖カッターや制服ポロシャツ着用生徒はいるにはいるのだが多くはない。ざっと見て7割が長袖カッターにネクタイ、ベスト着用している。そこで声を掛けて訊いてみた。長袖の理由は「長袖を少しまくり着こなすのがエモいから」「ネクタイと長袖がおしゃれ」「半袖はなんかダサイ」またこんな意見も。「脱毛しなくてよい」「日焼けしない」など。なるほど。今どきファッションに性別はない。脱毛だって男子がしてよいのだ。ここ数年の男子の捻挫を手当して気がつくのは、男子のすね毛がないこと。訊けば「エステで」「自分で」「お手入れしているとのこと。自然がいいのにと、昭和を長く生きたおばちゃんのお私に思う。私だって45年前は高校生だったのだから。おしゃれしたい気持ちにはわかるつもりだ。

時代と共にオシャレの基準は変わるものだと実感した。私の年代はセーラー服のスカートの長いのがおしゃれだったし、エモいという言葉もなかったな。制服も自由度を高めて個性を大切に作る時代。半袖でも長袖でも健康に気を付けて学校生活を楽しくしてほしいものだ。

杉本 芙美子

金鶏鳥

宮美遊

幼少期 (三)



ある日曜日の昼下がり。四才になった信男は、六才の兄辰郎に手を引かれて歩いていった。露草の青さに目を奪われていている信男の手を、辰郎がクイと引っ張る。信男は顔を上げて尋ねた。

「どこ、いくん？」

「寺や。みんな集まっとる」

寺の前の広場では、いつも子供達が賑（にぎ）やかに遊んでいた。

ところが、広場に着いた二人の前には誰の姿も無い。二人がキョロキョロと辺りを見ていると、背後から押し殺した声が出た。

「たっちゃん、こっち！」

振り向くと、大木の陰から竜太（りゆうた）が手招きをしていた。八才の割には体が大きく、元氣あふれる男の子だ。

「鬼が来んうちに隠れな」

と竜太が言う。かくれんぼの鬼は、他の子たちを探しに行っているらしい。信男は辰郎の後ろにくっついて、自分の背丈ほどのアジ

サイの木の後ろに隠れた。信男なりに息を殺して隠れているつもりだったが、アジサイの葉の隙間から信男の肩がはみ出ている。戻ってきた鬼は、それに気がついてそおっと近づいた。

「のぶちゃん、みつけた」

その声に振り返ると、豊（ゆたか）が得意げな顔で立っていた。豊が鬼だったらしい。横でしゃがんでいた辰郎も見つかってしまった。

豊は

「のぶちゃんたち、今来たんか。今度はのぶちゃんたちが鬼な」と言うのと、他の子たちを探しに行った。

「にいちちゃん、僕、鬼になるん？」

信男がそう言って辰郎を見上げる。

「のぶちゃんは小さいでオマケしたる。オレが鬼をしてやるから、兄ちゃんのそばにいたらええ」と辰郎が答えた。



絵：落葉画廊

編集後記

暑さの続く毎日、ふと耳を澄ますと昼間セミの声が聞こえないことに気付きました。気温によって活動するセミが異なるそうです。自分たちの適温でない時には活動をお休みするのでしょうか。子どもたちも親も心の適温を知ることが大切だなと感じました。

(恩庄か)

おしらせ

★教職員対象勉強会
8月20日午後、教職員対象の勉強会を予定しています。詳細はサイトをご覧ください。

★フラツペ
原則毎月第3日曜日の午後を予定していますが、次回8月は第4日曜日になります。

★不登校でお困りの方、いつでもお話を伺います。研究会のお問い合わせフォームからお気軽にご連絡ください。

この小説は、明治・大正・昭和と激動の時代を乗り切った実在の人物をモデルとした小説です。先行き不透明な現代を生きるヒントが得られるような気がします。コトにて先読みができるようになりまして。「宮美遊」で検索してみてください。